

〔一〕 次の文章を読んで後の問に答えよ。

未開人はまず死者をおそれる。それは死者がまだ生きているということであるが、われわれの葬式もなおその観念をとどめている。もともと仏教のように a ラディカルな個人主義的宗教は葬礼とは関係ないのだが、それを b キョウウ するほかに社会的に存続できなかつたのである。

他人の死が、不在でなく確実に死であるためには、なにかべつの条件が必要なのであり、したがって死は、たんに物理的な問題でもなければ観念の問題でもない。死はいわば (A) の問題である。葬制をもたない社会は存在しないという事実がそれを証し立てている。ある人間が死ぬことは、彼がその一点を占めていた諸関係に空白ができることであり、生き残つた者はそれを埋め、彼をしめだして新たに諸関係を再編成しなければならぬ。そうでない間は死者は (B) 。

c 私の数少ない経験では、葬式には残酷なところがある。私はそれを葬式が d ケイガイ 化してきたせいだと思つていたが、本当はそうではなかつた。死者を e 悼むとか悲しむとかいつた、人類史において比較的近代に属する観念のずっと底に、葬式がもっている本質がかくされている。それは死者を本当に f 死なしめること、いわば死者を生きているものから追放することである。だから、死は物理的に考えられる瞬間の事実でもなく、生き残つた者の悲哀や喪失といった意識的事実でもなく、一定の幅をもつた共時的な出来事である。それは、一つの関係の体系がべつの体系に変形される過程の全体をさす。ひとが死に、そのあとで葬礼があるのでなく、葬礼も (C) 。

われわれは時とともに、悲しみを忘れそのひとの不在になれていく。が、そのときにはじめて「死」が完了するのだ。死者はもはや不在者と異なり、生きている者が再編成した関係の体系のなかに入り込む (D) がなくなっている。

たとえば、秦の始皇帝は巡遊先で死ぬとき長子^{かんがん}を後継者とする詔勅を、宦官趙高に与えた。趙高は g それをおそれ、天子の喪を秘して公表せず、始皇の詔をうけたといつわつて末子胡亥^{こがい}を立て、急いで宮廷に帰還する。《暑さのため、皇帝の屍^{しかばね}を載せた車が臭いので、おつきの役人に命じて、車には各々塩漬の魚を二石ずつ載せさせ、屍の臭気をまぎらした》

しかし、恐ろしいのは彼らの行為ではなく、始皇帝の死によって生じた一瞬の真空なのだ。むしろ彼らこそこの真空状態におびえており、恐怖に駆り立てられて宮廷へ急行するのである。始皇帝の死を長子の陣営が知れば、事態は逆転する。始皇帝はまだ死んではいない。彼が死ぬのは、誰かが始皇帝にとってかわる関係の h チツジヨ を形成しおわるときである。

武田泰淳は書いている。

『またさらに、始皇帝臨終の情景は、生前の i ゲンゼン たる模様が詳細なだけに、アツとばかりに人を驚かすものがある。j ゼツタイ 者の死、「世界の中心」の死、世界統一者の死と言うだけでも、人眼を惹く歴史的事件である。殊に本紀の中にそれをとりあつかうとすれば、さらに問題は大きくなる。しかし司馬遷^{しばせん}は、きわめてさりげなく、簡単明瞭に書きつけている。「始皇は死と言うことをきらつた」と書いている。「始皇、死を言うことを悪む」。地上のゼツタイ 者が、死にあたってなおも生命にしがみつき、帝位の上で執念の k ほむらにとらわれていた情景は、この一句に尽きている。』

しかし、始皇帝がたんに生命にしがみついていたというのは正確ではないだろう。l 彼は「死」が何たるかを知っていたのである。それは現にそのあとで起こつた事件なのだ。かくも明らさまに「死」の本質が m シュツツするとき、死の観念は何ものでもない。むしろ、死の観念はいつも死が何たるかをおおいかくしている。

『 (E) 』のどこにも書かれていないのに、その構造を支えているのは、この死、あるいはこの真空に対する

恐怖のように思われる。とくにnキョウアクな人間やo狡猾な人間がいるのではない。彼らはむしろ真空におびえ且つ魅せられて行動するに過ぎない。『(E)』は、中心の不在、あるいはそれが一瞬開示する根源的な混沌

—それは書かれていない—によって成立しているようにみえる。(柄谷行人「マルクスその可能性の中心」)

問一 傍線部 a・f・k の意味について適切なものを選び番号で答えよ。(解答番号は【1】〜【3】)

- | | | | | | | | | | | |
|---|-------|-----|---|-----------|---|-----------|---|-------|---|------|
| a | ラディカル | 【1】 | 1 | 精神的 | 2 | 急進的 | 3 | 神秘的 | 4 | 普遍的 |
| f | 死なしめる | 【2】 | 1 | 死んだものと見なす | 2 | 死なないようにする | 3 | 死なせない | 4 | 死なせる |
| k | ほむら | 【3】 | 1 | ほのお | 2 | 束縛 | 3 | 洞窟 | 4 | うそ |

問二 傍線部 b・d・h・i・j・m・n と同じ漢字を含むものを選び番号で答えよ。

(解答番号は【4】〜【10】)

- | | | | | | | |
|---|-------|------|---|--------------|---|----------------|
| b | キョウウ | 【4】 | 1 | 考え方がヨウチだ | 2 | 手先がキョウだ |
| d | ケイガイ | 【5】 | 1 | ホウガイな利息 | 2 | 事故車のザンガイ |
| h | チツジヨ | 【6】 | 1 | 長幼のジヨ | 2 | ジヨコウ運転 |
| i | ゲンゼン | 【7】 | 1 | 利益を社会にカンゲンする | 2 | ヘンゲン自在 |
| j | ゼツタイ | 【8】 | 1 | タイコの昔 | 2 | 会社の賃金タイケイは複雑だ |
| m | ロシユツ | 【9】 | 1 | ゴロ合わせ | 2 | ダンロのある家 |
| n | キョウアク | 【10】 | 1 | 二年続きのキョウサク | 2 | 人間と動物がキョウゾンする |
| | | | 3 | 恐ろしくてゼツキョウする | 4 | 自由をキョウジュする |
| | | | 3 | リロ整然と説く | 4 | 冬になると壁がケツロして困る |

問三 空白部 A・B・C・D・E に入る適切な語句を選択肢より選び、番号で答えよ。(解答番号は【11】〜【15】)

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---------|---|-----------------|---|---------------|---|------------|
| A | 【11】 | 1 | 制度 | 2 | 理論 | 3 | 感情 | 4 | 政治 |
| B | 【12】 | 1 | よみがえるのだ | 2 | 永遠の生命を得るのだ | 3 | 生き返ることはできないのだ | 4 | 生へつながる道なのだ |
| C | 【13】 | 1 | 死の一部なのだ | 2 | 死者の名誉を保つ必要があるのだ | 3 | 復活を願う儀式なのだ | 4 | 余地 |
| D | 【14】 | 1 | 余地 | 2 | 余力 | 3 | 余命 | 4 | 余命 |
| E | 【15】 | 1 | 三国志 | 2 | 西遊記 | 3 | 水滸伝 | 4 | 史記 |

問四 傍線部 e・o の読み方について正しいものを選び、番号で答えよ。(解答番号は【16】〜【17】)

- | | | | | | | | | | | |
|---|----|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| e | 悼む | 【16】 | 1 | いむ | 2 | ねたむ | 3 | つつしむ | 4 | いたむ |
| o | 狡猾 | 【17】 | 1 | こうかつ | 2 | こうこつ | 3 | こうごつ | 4 | こうしつ |

問五 傍線部 g「それ」は何を指しているか。適切な語句を選択肢より選び、番号で答えよ。(解答番号は【18】)

- | | | | |
|---|-------------|---|-------|
| 1 | 秦の始皇帝 | 2 | 始皇帝の死 |
| 3 | 長子を後継者とする詔勅 | 4 | 宦官 |

問六 傍線部cについて、葬式はどのような点で残酷なのか、適切なものを選んで番号で答えよ。

(解答番号は【19】)

- 1 葬式は、死者を悲しむのではなく、自分自身を悲しむのが本質であるから。
- 2 長い間あつていない人にとって、死者は不在者と同様であり、あえて式をする必要はないから。
- 3 不在感には次第に慣れていくのに、式でわざわざ死者を思い出させるから。
- 4 死者をこの世から追放し、死者を除外したところに新たな関係を再編するから。

問七 傍線部1について、始皇帝は死をどう考えていたのか、筆者の考えにもっとも近いものを選び、番号で答えよ。

(解答番号は【20】)

- 1 ある人の死は、これまでその人を中心にして形作られていた関係に大きな空白を作る。
- 2 世界統一者として、命と帝位の永遠を願っているので、口にすることさえきらっている。
- 3 死は物理的な瞬間としてのもではなく、残された者の悲哀や喪失といった観念的なもの。
- 4 死は不在であり、一時的な喪失であつて、葬儀を通して永遠の存在に変化する。

問八 次のことわざの空欄①～⑦には適切な語句を、a～gには該当する意味を選び、番号で答えよ。

(解答番号は【21】～【34】)

	語句	意味		
A 坊主憎けりや①()まで	(a)	①【21】	a	【22】
B ②()身中の虫	(b)	②【23】	b	【24】
C ③()に塩	(c)	③【25】	c	【26】
D はきだめに④()	(d)	④【27】	d	【28】
E 流れに⑤()さす	(e)	⑤【29】	e	【30】
F 袖振り合うも⑥()の縁	(f)	⑥【31】	f	【32】
G 木に⑦()をつぐ	(g)	⑦【33】	g	【34】

【語句】	1	2	3	4	5
1 棹 <small>さか</small>	2 青菜	3 袈裟 <small>けさ</small>	4 竹	5 獅子 <small>しし</small>	
6 多少	7 鶴	8 他生	9 虫		

【意味】

- 1 みすぼらしい場所に優れたものが現れる
- 2 ちよつとしたことも前世からの因縁による
- 3 周囲のなり行き会わせて物事をうまく進める
- 4 あこがれても手に入らないもの
- 5 その人を憎むあまり、その人が関係したもので憎くなる
- 6 恩をあだで返す者
- 7 物事のつながりが不自然なさま
- 8 元気がなく、しよげるようす
- 9 周囲の状況に反対する

【三】 次の短歌を読んで後の問いに答えよ。

- A 金色のちひさき鳥のかたちして银杏ちるなり夕日の岡に
B 病のごと

思郷のこころ湧く日なり
目にあをぞらの煙かなしも

- C 瓶かみにさす藤の花ぶさみじかければたみの上にとどかざりけり
D おりたちて今朝の寒さを驚きぬ露しと柿の落ち葉深く
E 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まずただよふ
F 星のゐる夜ぞらのもとに赤赤とははそはの母は燃えゆきにけり

問一 それぞれの短歌の説明としてふさわしいものを選び、番号で答えよ。(解答番号は【35】～【40】)

- 1 擬人的な表現によつて、おごそかさが増している。
- 2 情景を詠みながら、作者の美意識を通して再構築した叙情的な世界。
- 3 巧みな比喻を用いた感傷が、いやみなく心にしみる。
- 4 浪漫的な歌で、孤独感が漂っている。
- 5 小細工を退け、的確な写生が感動を伝えている。
- 6 三句でいったん切り、そのあとに深い寂寥感が流れている。

問二 それぞれの短歌の作者を選び(解答番号【41】～【46】)、またその作者と関係のある事項を選び(解答番号【47】～【52】)、それぞれ番号で答えよ。

- 【作者】
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1 正岡子規 | 2 斎藤茂吉 | 3 与謝野晶子 | 4 石川啄木 |
| 5 伊藤左千夫 | 6 若山牧水 | 7 夏目漱石 | |

- 【事項】
- | | | | |
|----------|---------|------------|----------|
| 1 死にたまふ母 | 2 根岸短歌会 | 3 『海の声』 | 4 『一握の砂』 |
| 5 『野菊の墓』 | 6 則天去私 | 7 『新訳源氏物語』 | |

【四】 次のA～Hの対義語として、()の中に入る漢字を選び番号で答えよ。(解答番号は【53】～【60】)

- A 精密↑↓() 雑 B 敏速↑↓() 慢 C 違反↑↓() 守
D 一般↑↓特() E 勤勉↑↓怠() F 繁榮↑↓() 退
G 進展↑↓停() H 故意↑↓() 失

【漢字】

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 惰 | 2 緩 | 3 過 | 4 微 | 5 殊 |
| 6 粗 | 7 遵 | 8 衰 | 9 滞 | |